

《結果の抜粋と掲載ページ》

■ 調査概要	2ページ
■ 水への意識	
◇ 水への意識の度合いは“大切さ”> “ありがたさ”> “関心”…トピック【1】	3ページ
◇ 「水道料金」「節水や水の再利用」が水の2大関心事	3ページ
◇ 子どもの頃に「水辺でよく遊んだ」「水の大切さを教わってきた」経験者4割台	3ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki’s View～ ① 水体験	4ページ
◇ 水道水が飲めることへの幸福感、水の出っぱなしへの罪悪感、7割超が共感	4ページ
■ 水への関心有無による水意識	
◇ 水への“関心あり層”は「大切さ」「ありがたさ」をより感じている	
“関心なし層”は、ありがたさを感じていない人が3割超	5ページ
◇ 水に関心がある人の原体験は、子どもの頃に受けた水の教育？…トピック【2】	5ページ
◇ “関心なし層”は、水への感謝は無いが、出っぱなしには罪悪感	5ページ
◇ 節水を行う理由“関心あり層”は地球環境、“関心なし層”は家計をより重視？	6ページ
◇ 将来きれいな水が飲めるために必要なこと“関心なし層”は川や海的美観重視？	6ページ
■ 節水の意識と行動	
◇ 節水の意識と行動ともに昨年を大きく上回る	6ページ
◇ 日常生活で実践していることは項目ごとの取り組み率がやや上昇	6ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki’s View～ ② 罪と水	7ページ
■ 水道水に関する意識	
◇ 水道水の評価は、10点満点回答者の大幅増加で平均点が7点台に上昇	8ページ
◇ 水道水への不満20～30代は味、40～60代は料金により不満	8ページ
■ 水と生活・文化	
◇ 日常生活で無いと困るもののトップ3は1位「電気」、2位「上水道」、3位「食料」	9ページ
◇ 「下水道」が無い生活には耐えられないと思う人が約8割…トピック【3】	9ページ
◇ 耐えられる日数の平均は、最短「飲用水」1.6日、最長「スマートフォン」3.7日	9ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki’s View～ ③ 何はなくとも	10ページ
◇ 知っている祝日・記念日で「水の日」の認知率が過去最高を更新	10ページ

【調査概要】

第28回（令和四年度）「水にかかわる生活意識調査」

- ◆ 調査対象数 : 1,500人
- ◆ 調査対象者 : 東京圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)、大阪圏(大阪、兵庫、京都)、中京圏(愛知、三重、岐阜)に居住する20代から60代の男女
- ◆ 調査方法 : インターネット調査
- ◆ 調査期間 : 2022年6月3日(金)～6月8日(水)
- ◆ 回収数(人) :

	東京圏		大阪圏		中京圏		合計		小計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
20代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
30代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
40代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
50代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
60代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
合計	250	250	250	250	250	250	750	750	1,500
	500		500		500				